

染井吉野のふる里を訪ねて...

突撃めくりMAP

第5回

染井の桜祭り
4月4日(日) AM 10:00
記念公園
イベント・模擬店・etc

としま区最古の桜餅もある。
専修院 駒込七丁目

慶応二年(1897)創立の浄土宗寺
門前に「武州最古之御染井村」の扁がある

話し言葉で小説を書いた……
二葉亭四迷のお墓

明治時代の小説家、東京生れ(1854~1909)
本名は長谷川辰之助、東京外語大ロシア語科卒
ロシア文豪ツルゲーネフ等の小説を翻訳。
彼の小説は初めて国語体を用いた(書文一致)で
日本近代文学の先駆けをつくり、この功績の界碑は
高い「碑文」は代表作。

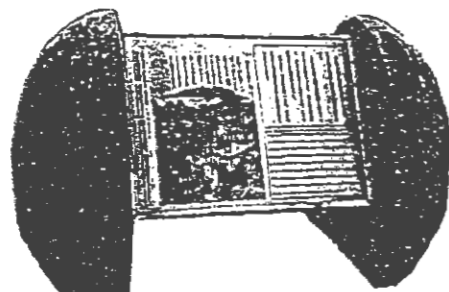
詩人・彫刻家として有名な……

高村光太郎のお墓

東京生れ(1883~1956)東京美術学校(芸大)の
出身、ロダンなどの影響を受け、すぐれた作品を
作っている。随筆主義者で「道程・どうてい」
「智恵子抄」等の詩集もある。

戦火から京橋を救った。
岡倉天心のお墓

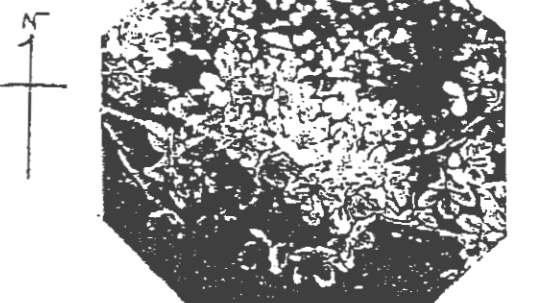
美術教育家(1862~1917)
明治の隆盛の中で伝統芸術を護り、新しい伝
うちたて日本の伝統芸術のよさを世界に紹介。
第二次大戦のおり、天心から影響を受けたアメリカ
の学者によって京橋が戦火から救われたというエピソード
もある。



染井吉野桜発祥の里 記念碑(記念公園内)



又 1311
染井吉野村
みどり



〈染井吉野〉(そめいよし) Prunus yedoensis Matsum.
野生種のヤマザクラのように園芸品種を代表する品種で、全国至
るところに植えられています。花は淡紅色の一重で、新葉より先に
咲き、全枝が花にうすまるさまは、真に華やかです。
繁殖が容易で、成長も早く、また花つきも非常によいので急速に
全国に普及しました。主に、公園・路傍・学校・堤防などの公共施
設に集団的に植えられています。
若木のうちは樹勢も強く、抵抗方もありますが、成長が頂点に達
してしまふと急に樹勢が衰へ、てんぐ巣病にもかかり易く、平均し
て樹齢が短いという欠点があります。
なお、この品種は江戸時代末、江戸染井村(現在の豊島区駒込)
の匠木屋が「西野桜」と称し、売り出したのが始まりで、その後、
板の名所、吉野山のヤマザクラと区別するため、「染井吉野」の名が
つけられました。

朝日にかがやく

日枝神社 駒込一丁目

安政年代の園説に「上駒込村平田中は
神明宮(現天満神社)の底子なるに、山王社を
任中の氏神にしている。」となっており、東方
に向つて高台にあり、朝日山王宮と号し見晴し
のよい景勝の地であった。

明治天皇行幸記念碑

旧木戸郵跡 駒込一丁目

明治時代のすぐれた政治家木戸孝允の家族跡
(別邸)山口県生れ(1832~1877)越小五郎
から名が変った。
大久保利通・西郷隆盛と共に明治維新の三傑
として有名。明治天皇が二回見舞いに来ている。
「西郷もう大抵にせぬか、が最後と言ふ」と有
名。

おわん横丁の尼寺
福壽禅院

江戸時代、徳林院住持大徳定尼が
開基。五世の大徳尊尼までは高木一
族の出で、時に八世の寶山徳林尼は天下の三尼僧の
一人に数えられ、全国から徳を慕って修業僧が湧り、
隆盛期には五十名余りにもなる尼僧がいた。
朝夕におわんを持って托鉢したことからの通称は
「おわん横丁」と名付けられていた。
本駒込にある名主徳政の先代高木徳盛が豊島の遠
近であったことから、高木家の縁が江戸城大徳助め
となり28才で徳政(らくしよく)し尼僧となってこ
こに庵をつくった。

染井の鎮守さま
染井熊守 火防の神

村の鎮守で、雷の辺に井泉があり、木々の
根や根葉で水面が染り、一説にはこれから染井
の地名が生まれたとされている。
ご神体は十一面観音石像。慶長(1674)
神仏混交の貴重な史料である。

伊賀嶺のお墓のある……

藤林山 西福寺

徳一大師の作で駒込にあるお寺で西福寺と福壽院を
論じては、みな徳より移転してきたもので、それだけ
に歴史は古い。徳川八代将軍吉宗に特に可愛がられ、
「徳林」と云われた伊賀伊兵衛政盛(寛永七年・
1757没)の墓がある。
六地蔵や徳林の「地蔵抄」「花壇大全」(享和四年
1799~1733)の古文書があり、狂歌人蜀山人の色紙な
どがある。

おおくにぬしのみこを原る
大國神社 駒込三丁目
駒込駅前

大國主命が鎮神、古い地区にも大黒神
大黒とでている。
身体が弱かった徳川家康(いえなり)が心
心、後に第十一代将軍になったことから、出
世大黒、目の出大黒とも呼ばれている。
木明の七つの大國神があり、大黒天の道標が
あるとされている。

子どもを見守る

子育地蔵 駒込二丁目徳政所となり

江戸時代より豊島の素朴な信仰で引継がれている
もので、日光御成道に面し、手塚坂、つかまんなり
あり、注目がしる。
正上方に二少女が刺まれている石塔は戦前消防自
動車の事故に巻きこまれたよし二少女のもの。

太田道灌も就職祈願した

妙義神社 駒込三丁目

文明四年(1472)道灌が豊島氏の平塚(北区)攻めを
前に就職祈願をしている。昔は福徳山とも呼ばれ熊神は、
日本武尊・高皇産神(たかひすびのかみ)神功皇后、元神
天皇の四皇神。

染井よしの桜の会

東京都豊島区駒込